



磐梯山と猪苗代湖と鬼沼

平成 21 年 9 月 30 日
第 2 号

みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

飯豊連峰保全連絡会による合同保全作業

磐梯朝日国立公園飯豊地域では、永年の登山利用に起因するとみられる登山道周辺の植生荒廃が懸念されてきたことから、平成 20 年 2 月、山岳会、自然保護団体、関係行政機関など地元関係者で構成する「飯豊連峰保全連絡会」(以下、連絡会という。)が発足し、協働して飯豊連峰の保全活動に取り組んでおり、東北地方環境事務所は連絡会の発足当初からこの取り組みに参画しています。

連絡会発足 2 シーズン目となる今年度は、飯豊連峰稜線部の 3 箇所において、荒廃箇所を復元させるための作業が計画されており、今回は「梶川尾根上部」で実施された作業を紹介させていただきます。

平成 21 年 9 月 5 日(土)～6 日(日)、飯豊連峰の梶川尾根上部で合同保全作業を行いました。今回の作業箇所は、急傾斜部分において雨水集中と登山道が拡幅したことによる植生荒廃が進行している箇所です。作業は現地の転石と麻製土嚢袋を用いて土留めを設置する作業と、裸地部に緑化ネットを敷設する作業を行いました。今回の作業で設置した土留めにより土砂の流出が抑制され、緑化ネットが現地植物種子をキャッチすることで植生の復元が期待されます。



秋田県における「こでんプロジェクト」の取組について

最近の小型家電には、レアメタルが多く含有されています。レアメタルは重要な原材料として、資源の有効活用等の観点から循環の利用や適正処分が必要となっていますが、使用済小型家電のほとんどが、各家庭に死蔵されたり自治体でのゴミとして廃棄されたりしているのが現状です。

秋田県では、使用済小型家電から金属資源を回収するシステムの構築を目指し、平成 18 年度から全国に先駆けて、「こでんプロジェクト」による使用済小型家電の回収を実施しており、この取組は、平成 20 年 12 月に国のモデル事業に採択されています。

なお、回収された使用済小型家電は、大館市にある家電リサイクル工場でリサイクル方法を検討するための試験サンプルとして活用されます。



(秋田県庁こでん回収ボックス)

9 月 5 日～6 日に秋田市で開催された「第 9 回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」と「3R 推進秋田大会」の会場では、回収モデル事業の一環として「こでん回収ボックス」を設け、イベント会場での回収試験を実施し、各会場あわせて開催両日で約 5 万人が来場され、こでん回収ブースでも多くの方が解説パネルや使用済家電などから製錬した金塊に触れるなど、身近なレアメタルリサイクルの重要性を実感していました。



環境省では、今後も引き続き、秋田県をはじめとする関係機関と連携して、レアメタルリサイクルや循環型社会の形成のための取組を進めていくこととしています。

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町 3 - 2 - 2 3
仙台合同庁舎

電話:022 (722) 2870 (代表)

FAX:022 (722) 2872

電子メール: REO-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

東北地域のまほろば事業 (福島県いわき市地域)

環境省では、平成16年度から19年度の間、環境と経済の好循環の取組を広く普及することを目的に「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を実施してまいりました。

東北地域では、青森県鯉ヶ沢町、岩手県遠野市、岩手県住田町、宮城県塩竈市、山形県飯豊町、福島県いわき市の6地域が本事業に取り組みました。本紙では、各地域の先進的な取組等を波及するため、今号から事業概要等をお知らせすることとしました。全国の事業評価は、環境省HPに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

(全国の事業評価)

http://www.env.go.jp/policy/env_econo/model/index.html

福島県いわき市地域

いわき市地域は、平成16年度から18年度の3年間、本モデル事業に取り組みました。同地域では、地域環境力を高める環境教育(ひとづくり)とバイオマスなどの多様な新エネルギー資源を活用した環境産業振興(産業づくり)を推進し、環境と経済の調和融合の実現を目指しました。

環境教育(人づくり)の推進では、環境と経済の好循環のまちづくりを支える環境教育・環境学習の必要性やあり方等を広く市民に普及・啓発する環境教育・情報プログラム活用事業、中小事業者のCO₂排出削減の意識醸成を行う事業者意識醸成プログラム活用事業、市民が各世代の特性にあわせてCO₂削減に資する取組を体験するレッツ・体感リサイクル事業等が行われました。



(木質ペレットの製造プラント)

環境産業振興(産業づくり)の推進では、CO₂の排出削減を通じた環境保全と雇用創出を目的に、木質バイオマスエネルギーの再利用、利用促進等を図るため、木質ペレット製造設備施設整備事業、木質バイオマスペレット利用施設整備事業、木質バイオマスペレット利用促進事業、木質バイオマス熱分解ガス化実証事業の他、廃スプレー缶ガスの貯蔵施設及び温泉熱利用設備の整備、さらに食用油再生施設等の増設を行いました。

いわき市では、環境教育の推進に取り組んだことにより、住民・事業者の各事業に対する認知度、理解度、参加度が高まり、環境と経済の好循環の意識醸成が図られた。環境産業振興の面では、施設整備等により、H17年度は約660t-CO₂、18年度は約1609t-CO₂、19年度は約2118t-CO₂、20年度は約2142t-CO₂のCO₂排出削減量となっている外、初期投資や事業活動に伴う波及効果も含め、経済活性化効果は一定程度得られたものと考えられる、としています。

また、同市では、事業の継続という観点から、人づくりについて、今後は各々の活動母体を中心となり、本事業で実施したような活動の一層の展開を期待するとともに、産業づくりについては、本事業で製造される木質ペレットが火力発電所の燃料としても利用され始める等、需要の拡大も図られてきていることから、これからも着実に事業を進め、CO₂排出削減量の確実な増加が図られるよう取り組みたいとしています。

アクティブレンジャー写真展

東北地方環境事務所では、国立公園・世界自然遺産・国指定鳥獣保護区等のパトロール、調査、利用者指導、自然解説などを行っているアクティブレンジャーが、日頃の業務において撮影した写真を集めた写真展を開催しています。四季折々の自然の風景を撮影したアクティブレンジャーおすすめのスポットや、数万羽のマガンの旅立ちなどを撮影した生きもの達のいる風景などを、各国立公園内のビジターセンター等において、随時展示しています。

詳しくはこちらのHPをご覧ください。
http://tohoku.env.go.jp/to_2009/0430a.html

3R推進秋田大会

東北地方環境事務所では、9月5日(土)に秋田市で、「3R推進秋田大会」(当事務所主催)を、「第9回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」(同実行委員会主催)と同時開催で開催し、秋田県内から約1,000人の皆さんが来場されました。

同大会では、「生島ヒロシさんによるトークショー」、「地元秋田の企業・住民・有識者代表による“地域環境圏あきた”を考えるトークセッション」及び「秋田県内で3Rや環境をテーマに活動している団体等による活動・体験発表」が行われました。

また、イベント広場ブースでは、秋田県が環境省等のレアメタル回収実験の一環として、使用済小型家電の回収ボックスを設置し、小型家電回収及び小型家電アンケートを実施しました。このほか、ソッパさんのエコ実験ブース&3Rまなびあいブックのゲームで楽しく3Rを学びました。



職場紹介

～十和田自然保護官事務所

十和田自然保護官事務所では、十和田八幡平国立公園、国指定十和田鳥獣保護区、和賀岳自然環境保全地域及び早池峰自然環境保全地域の管理を、6名の職員で行っております。

日本を代表する優れた自然環境をまもり、末永く後世に引き継いでいくために、各種法令に基づく行為の規制をはじめ、国立公園を適正に利用していただくための仕組みづくりや普及啓発、さらに荒廃した湿原の復元対策や外来植物の駆除など、貴重な自然環境を保全するために必要な様々な業務を行っています。

また、優れた自然環境の中で、自然とのふれあいを通じて自然を守ることの大切さを学んでいただくために、必要な自然情報の提供、登山やバードウォッチングなどの自然観察会の開催、自然体験キャンプなどの体験学習の開催など、質の高い自然体験を提供するための業務も行っていきます。

これからも、地域の皆様、関係する団体、そして様々な保全活動に取り組んでいただいているボランティアの方々のご協力をいただきながら、かけがえのない大切な自然環境の保全に引き続き取り組んでまいります。



東北地方環境事務所の業務予定(平成 21 年10月～11月10日)

月日	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
10.22	13:30～	秋の不法投棄監視合同スカイパトロール	産業廃棄物の不法投棄等の上空監視パトロールを東北各県及び新潟県で一斉に実施	仙台市消防ヘリポート(仙台市若林区)	廃棄物・リサイクル対策課(前田)
11.8	9:30～12:00	地域循環型社会づくりシンポジウム(併催:いわて環境王国展)	循環型社会づくりに向け地域における優れた活動事例や先進的な取組事例の紹介等	いわて県民情報交流センター「アイーナ」(盛岡市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)
10.20	18:30～20:30	EPOサロン人間の生活と水族の多様性保全(EPO東北主催)	生物多様性などをテーマとしたセミナー。参加者が情報交換や意見交換を行なえる場を設ける。講師:木島明博氏(東北大学大学院生命科学研究所教授)	EPO東北(仙台市)	環境対策課(片岡)
10.24		政策提言ワークショップ(EPO東北、ふくしま森の遊学舎主催)	幕滝遊歩道でのトレッキング、政策提言ワークショップ	福島県福島市幕川温泉	環境対策課(片岡)
10.28～30		環境教育リーダー研修基礎講座～やってみよう環境教育	環境教育の基礎を学ぶと同時に、「自然・人間・地球」をキーワードに身近な問題や素材を環境教育に活かすヒントやコツを探る。	公立小川原湖青年の家(青森県上北郡東北町)	環境対策課(片岡)
11.1		地域と企業の連携に関するセミナー(EPO東北、山形県環境保全協議会主催)	基調講演、地域と企業の連携活動の紹介、参加者の意見交換。	山形国際交流プラザ基(山形市)	環境対策課(片岡)
11.6		平成21年度環境カウンセラー研修(東北地区)～水きらめくふくしま～	環境カウンセラーとして登録を受けている者を対象に、環境カウンセラーとしての資質、能力の向上を図る等を目的とする。	ビックアイ(郡山市)	環境対策課(片岡)
11.7		ESD東北フォーラム2009inもりおか	基調講演、ESD先進地区より話題提供、事例発表	アイーナ(盛岡市)	環境対策課(片岡)
10.22～23		北海道・東北6県自然保護主管課長、自然保護担当者及び北海道・東北7県鳥獣行政事務連絡会議	自然保護行政に関する担当者の会議	山形市	国立公園・保全整備課・野生生物課
10.10	9:30～	大沼・長沼紅葉ハイキング(八幡平ビジターセンター運営協議会主催)	大沼～長沼～後生掛(5Km)	八幡平ビジターセンター(秋田県鹿角市)	鹿角自然保護官事務所(井手)

月日	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
10.10	9:00～	ブナ森ハイキング	休暇村～空吹湿原～ツアールの森～鶴の湯(6Km)	休暇村乳頭温泉郷(秋田県仙北市)	鹿角自然保護官事務所(井手)
10.18	9:30～	自然観察会(森吉山野生鳥獣センター運営協議会主催)	赤水溪谷	森吉山野性鳥獣センター(秋田県北秋田市)	秋田自然保護官事務所(畠山)
10.24	8:45～	本州最東端まで歩こう!(宮古ビジターセンター運営協議会主催)	姉吉～鮎ヶ崎灯台～与奈(10.8km)	宮古市役所駐車場(岩手県宮古市)	宮古自然保護官事務所(平井)
10.24	9:00～	裏磐梯の紅葉ハイキング	東北自然歩道(レンゲ沼周辺)を歩く	福裏磐梯サイトステーション駐車場(福島県耶麻郡北塩原村)	裏磐梯自然保護官事務所(福原)
10.10	8:30～	弥陀ヶ原の草紅葉を楽しもう(月山ビジターセンター運営協議会主催)	弥陀ヶ原	月山ビジターセンター(山形県鶴岡市)	羽黒自然保護官事務所(佐藤)
10.18	8:00～	ブナの紅葉を楽しもう(月山ビジターセンター運営協議会主催)	月山7合目～北月山荘	月山ビジターセンター(山形県鶴岡市)	羽黒自然保護官事務所(佐藤)

誌上写真展

当事務所以外の方からの投稿もお待ちしております。



今期飛来のマガン伊豆沼
(仙台保護官事務所 鎌田和子)



紅葉、はじめました。
(西目屋自然保護官事務所 山崎麻里)



磐梯朝日国立公園、安達太良山の沼ノ平
(くじゅう自然保護官事務所(前裏磐梯自然保護官事務所) 山本豊)



碓石海岸・乱曝谷 高さ30mの切り立った断崖。
断崖の縁には9月末からハマギクが白い可憐な花を咲かせる(大船渡自然保護官事務所 川口勝信)